研修だより

糸島市立一貴山小学校
平成２８年６月２４日（金）
学力アップ部

３年１組の子どもたち、福田先生ありがとうございました！！

【単元名】「昔遊びの紹介文を作ろう」～言葉で遊ぼう、こまを楽しむ～

【本時の目標】
○文の並び替えや中心となる文を選ぶ活動を通して、自分の考えをまとめたり、その考えをグループで練り上げ説明しようとすることができる。【関心・意欲・態度】
○文を並べ替えや中心となる文を選ぶ活動を通して、段落相互の関係や筆者の工夫を考えながら「こまを楽しむ」を読むことができる。【読む】
○中心となる文を選んだ理由を、叙述に基づいて書くことができる。【書く】

【本時の展開】

１　単元のゴール・既習内容を確認し、本時学習のめあてをつかむ。
（１）　前時までに学んだ学習内容と紹介文を作るという単元のゴールを想起する。
（２）本時学習のめあてをつかむ

めあて筆者のくふうをよみとり、せつめいしよう。

単元のゴールと読み方を確認します。

２　中心となる文を読み取る
（１）③段落の文の並び替えをおこない、どうしてそう並べたのかを　説明する。【テキストとの対話】

（２）中心となる文を選び、その理由をまとめる。

○説明文は順序よく整理されていることに気付かせるため、文の並び替えを行う。
○読み手にわかりやすく伝えるための工夫を考えさせるため、「並び替えた文の中で大切な文は何か１つ選　びましょう。選んだ理由を文章の言葉から考えまとめましょう。」という発問をする。
○読み手に伝わりやすいように書かれていることが視覚的にわかるように、中心文にサイドラインを引かせる。

自分の立場に○をつけさせ、理由を考えさせます

（３）グループで、中心となる文はどれか考え、まとめる。【他者との対話】

○グループでの対話を活発に行うために「みんなの考えから１つの考えにまとめましょう。」もしくは、「１つの考えにしぼりましょう。」という発問をする。
○「問いに対する答え」が中心となる文であることに気付かせるため、「４つの文」と「問いの文」とを組　み合わせる活動を行う。

グループで中心となる文をまとめます。

（４）全体で交流し、「鳴りごまは、回っているときの音を楽しむこまです。」が中心となる文であることをおさえる。

３　本時学習のまとめを行う。
（１）②④⑤⑥段落の中心文を読み取り、１文目に中心文があることで説明がわかりやすいことに気付かせる。【テキストとの対話】
（２）まとめ、ふりかえりを書く。【自己との対話】

○単元を通して、紹介文に生かせることを学んでいけるように、ふりかえりを書く活動を行う時、「今日の　学習で学んだことで、紹介文に生かせるもの」を書かせるようにする。

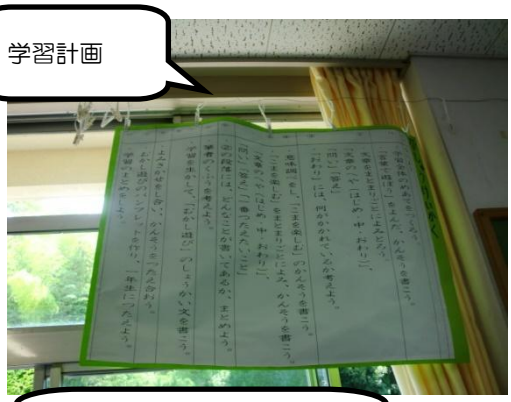
２つの視点から振り返りをします。

【福田先生の自評】

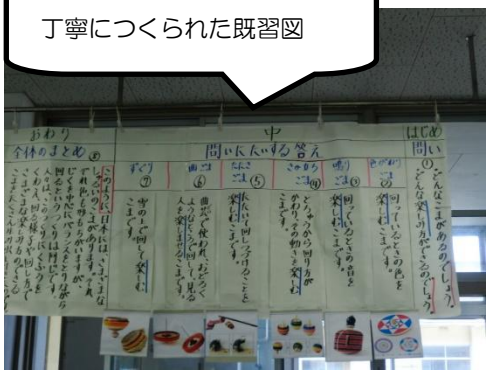
本時の目標について
・目標①　並べ替えは間違っていたが、意欲的にできた。
・目標②　段落相互の関係はつかませることができなかった。
・目標③　８割ができた。
【めあてをつかませる】
　単元のゴールと読み方の確認
【テキストとの対話】
・説明文は順序よく整理されていることに気付かせるため、文の並び替えを行う。
・読み手に伝わりやすいように書かれていることが視覚的にわかるように、中心文にサイドラインを引かせる。
【他者との対話】
・グループでの対話を活発に行うために、「みんなの考えから１つの考えにまとめましょう。」もしくは、「１つの考えにしぼりましょう。」という発問をする。
・「問いに対する答え」が中心となる文であることに気付かせるため、「４つの文」と「問いの文」とを組み合わせる活動を行う。

【自己との対話】
・単元を通して、紹介文に生かせることを学んでいけるように、ふりかえりを書く活動を行う時、「今日の学習で学んだことと、紹介文に生かせるもの」を書かせるようにする。

学習計画



丁寧につくられた既習図



【協議会で話し合ったこと】

福田先生のよさ
〇既習図が丁寧につくられている。
〇具体物（こま）を置いて、子どもたちにイメージさせている。
〇ねらいが明確であった。
〇前時の振り返りからめあてをつかませている。
●【他者との対話】では考えをまとめさせるための手立てが必要であった。
　→①と③どっちかな？と発問し、理由も問う。
　→クラスを立場ごとに分けて、理由を言わせる。理由を聞いて、納得したら移動する等
●挿絵を出すタイミング
　→「ほかに工夫しているところはありますか」と「発問する」

実際にこまを置いてイメージさせました。

【校長先生のご指導・ご助言】

〇めあてを子どもがつぶやく姿がとても良かった。
〇子ども達の手際のよさが良い。
〇叙述をもとに自分なりの言葉で発言する子どもの姿があった。
〇授業のテンポが良かった。
☆楽しみ方　つくりといったキーワードは、短冊の下に提示してもよかった。
☆毎時間ごとのふりかえりでパンフレットができあがっていくというスタイルでもよい。
☆振り返りの視点を明確に（内容の振り返り・読み方の振り返り）
☆学習指導要領の内容と本時の意味づけ・教材文の解釈について
☆目指す子ども像「中学年」の具体的姿の検証

【構想について】
☆めあては「〇〇を読み取り、△△に生かそう」というパターンもどうか。
☆単元の中で読み取る時間や活用する時間を位置付けてはどうか（教頭先生より）

福田先生お疲れ様でした☆
　福田先生は算数を得意とされていますが、算数での学習スタイルが国語でも生かされていると感じました。授業のはじめに「どんな読み方をしますか」と子どもに尋ねられ、読む方法も確認にすることで子どもたちもめあてに向かって学習することができました。先日、附属久留米小学校で国語の授業を見たときも読み方の確認をされていました。このことは、一貴山でも共有していきたいと思います。また、国語では「読み方」の指導に重きが置かれています。内容の読み取りも大切ですが、どのような方法で読み、筆者の表現の工夫を生かせる言語活動を明確にする必要があります。１学期の実践や先生方のご意見から、構想を練り直したいと思います。